

ハンダゴテ テスタ MODEL HS1D-A 取扱説明書

使用法

1. 正常動作の確認

- (a) 電源について
電源はAC 100V (50/60Hz) の商用電源を用いて下さい。
- (b) 温度表示について
電源プラグを接続し、電源スイッチをONにします。このとき単位表示ランプが点灯を示し、室温付近の温度を表示していることを確認します。
- (c) 絶縁抵抗表示について
(b)の状態のままモード切換スイッチの赤いボタンを押したとき、図1の表示窓の右側に $1 \text{ M}\Omega$ が表示していることを確認します。
- (d) リーク電流表示について
(b)の状態のままモード切換スイッチの黄のボタンを押したとき、0.0~0.2 μA を表示していることを確認します。

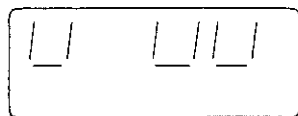


図1

上記以外の動作をした場合故障の可能性が考えられますのでただちに電源を切り、当社にご連絡下さい。

2. 測定方法

1. で正常であることを確認しましたら、図2のようにハンダゴテの先に少しハンダを乗せます。これは姿勢誤差等を防ぐためのものですから必ず行って下さい。

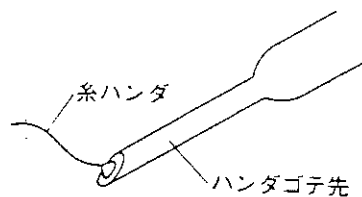


図2

- (a) 温度測定
図2のようにハンダをつけたコテ先をセンサ中央部に軽く押し当てます。この時の表示がコテ先の温度です。
- (b) 絶縁抵抗測定
まずハンダゴテと本器の電源がAC 100V (50/60 Hz) の商用電源の同じタップから取られていることを確認して下さい。次に2.-(a)のようにして温度を測定します。そして最高温度になったとき、そのままの状態モード切換スイッチの赤いボタンを押し続けます。そのときの表示の最小値が絶縁抵抗値です。(絶縁抵抗は温度が高くなるほど小さくなります。)
- (c) リーク電流測定
2.-(b)と同様に電源のチェックをしてから2.-(a)のようにして温度を測定します。そして最高温度になったとき、そのままの状態モード切換スイッチの黄のボタンを押し続けます。この時の表示値の最大の値がリーク電流値です。絶縁抵抗モードで表示しきれない範囲を知りたいとき等に利用できます。

3. オーバーレンジについて (図1参照)

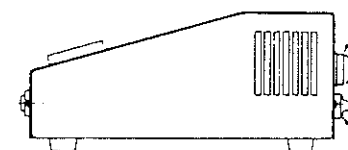
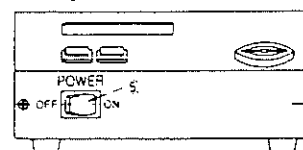
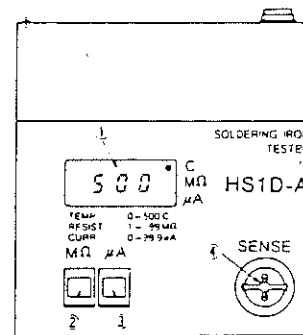
- (a) 温度測定
500 $^{\circ}\text{C}$ を超えると表示窓の一番左側に 1 が表示されます。
- (b) 絶縁抵抗測定
99 $\text{M}\Omega$ を超えると表示窓の右側に 1 M が表示されます。1 $\text{M}\Omega$ 未満の場合は表示窓の一番左側に 1 が表示されます。
- (c) リーク電流測定
99.9 μA を超えると表示窓の一番左側に 1 が表示されます。

4. センサの交換方法

センサは差し込み式になっておりますので、引っぱれば簡単に取りはずすことができます。取り付けのときは極性がありますので、極性を間違わないように取り付けて下さい。交換のときは必ず電源を切ってから行って下さい。

外形寸法図及び各部名称と機能

- ① 表示窓
測定値及び単位が表示されます。
- ②、③ モード切り換えスイッチ
測定モードを切り換えるときに使用します。スイッチング操作をしない時は温度測定モードです。赤いボタンは絶縁抵抗、黄色のボタンを押すとリーク電流測定モードとなります。
- ④ センサ
センサの中央部にコテ先を軽く押し当てることによって測定することができます。



センサ種類	用途
DHC-1	一般コテ先用
DHC-2	φ1mm程度以下のコテ先用 (低熱容量タイプ)

- ⑤ 電源スイッチ
- ⑥ ヒューズホルダ
0.5Aのヒューズを用います。
- ⑦ 電源コード
AC 100V (50/60Hz) 商用電源に接続します。

日本ボンコート株式会社

本社・工場 〒310 茨城県水戸市笠原町1006-1
電話 0292-41-2725
大阪営業所 〒556 大阪市浪速区久保吉1-1-39
電話 06-567-0682

代理店